

市上水道通水50周年 安心・安全な水をご家庭に届けます!

生活をする上でなくてはならない「水」。

多久市で上水道事業を開始して、今年で50年を迎えます。蛇口をひねれば当たり前のように流れる水ですが、市では安定的な供給のために、さまざまな水源を確保してきた歴史があります。これまでの上水道の歩みと、みなさんに安全・安心な水をお届けするため、日夜活躍している水道課の取り組みをご紹介します。



▲ 昭和42年度完成 四下浄水場

浄水場を作り直しました。
しかし、それでも追いつかず、厳木ダムの水利権の獲得と、佐賀西部広域水道企業団からの受水でようやく安定供給が確保できるようになりました。
とはいえ、水道は天候の影響を受けられることも多く、とりわけ平成6年の雨不足の時は九州で最初に給水制限に踏み切り、66日間にわたる夜間断水を実施しました。庭

市には大きな河川がないため、これまで水源の確保に苦労してきました。
昭和42年に県の河川である今出川の水利権を得て上水道が始まりましたが、水道の普及に伴って水量が足りなくなり、市内各地に浄水場を作り直しました。

みなさんの暮らしを
水道管で支えます!



水道課
おがわ よしたか
小川 義隆 課長



水道課の歴史



▲ 昭和62年
厳木町・多久市共同浄水場
厳木ダムが完成

- 昭和62年
- ◆ 厳木ダム竣工
- ◆ 厳木町・多久市共同浄水場竣工



- 昭和42年
- ◆ 四下浄水場竣工
- ◆ 市上水道給水開始

- 昭和40年
- ◆ 水道課が誕生
- ◆ 市上水道工事着工



▲ 昭和40年代
断水のため臨時給水
を行う

▲ 昭和40年代の
水道管理設工事